



かしわざき

KASHIWAZAKI

平成 21 年 1 月 20 日 発行

No. 135

発行  
柏崎市議会  
印刷  
小田 株式会社

# 市議会だより

ホームページアドレスは <http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp>

年頭にあたり



柏崎市議会議長  
霜田 彰

謹んで新春のお祝いを申し上げます。日ごろは市議会に対し、暖かい御理解と御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は中越沖地震の被災から一年、早いスピードで復旧がなされた年でした。復興元年で「さらなる未来へ」をキヤッチフレーズに震災復興計画が策定されました。市民の一日も早い生活再建と都市基盤の早期本格復旧、産業の再生を果たし、震災に見舞われる前以上の活力を目指したものです。

この計画に基づき、災害公営住宅の整備では昨年十月、柏崎駅前の工場跡地に復興公営住宅の建設が始まりました。本年八月の完成を目指し、工事が急ピッチで進んでおります。また、西山地区でも同様の工事が進められております。産業支援機能の整備・強化

では、柏崎の基幹産業である機械金属工業を盛り上げるための拠点施設として昨年、柏崎ものづくり活性化センターが整備されました。この施設で地域の企業・団体・大学などが一体となって、柏崎の産業活性化に取り組んでいます。災害に強い幹線道路網の整備では、中越沖地震で国道352号線の椎谷観音岬が崩落したこと、昨年五月、新たに（仮称）椎谷トンネルの建設に着手、本年度の開通が待ち望まれているところです。海外では、サブプライム問題から先端を発し、昨年九月アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが破綻しました。それ以後、金融危機が世界規模の株暴落と景気悪化を引き起こしました。

日本でも昨年の十二月から自動車産業の相次ぐ減産が起こり、輸出を主体とした製造業を不況が直撃しております。

柏崎でも自動車産業に関連した企業が多数あり、非正規社員の人員整理等、その影響が開始しております。

融資枠の拡大、利子補給等、市のできる支援を早急に行うことが必要です。時期を誤る



耐震改修工事が完了した議場

と、地震からの復旧・復興に水を差すことにもなりかねません。世界の景気ができるだけ早く回復し、柏崎の企業が立ち直ることを祈るばかりです。

最後になりましたが、今年一年、災害のない穏やかな年でありますよう御祈念申し上げます。新年の御挨拶といたしま

がんばろう！  
輝く柏崎  
平成二十一年初春

## 主な内容

- 主な議案 ..... 2～3 P
- 一般質問 ..... 4～8 P
- 議決一覧 ..... 9～10 P
- 議員寄稿 ..... 11 P
- 議会日誌・編集後記 ..... 12 P

- |    |     |    |    |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |     |    |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|-----|----|
| 梅沢 | 三井田 | 吉野 | 真貝 | 本間 | 矢部 | 笠原 | 齋木 | 飯塚 | 佐藤  | 野中 | 村田  | 持田 | 片山 | 副議長 | 議長 |
| 明  | 孝欧  | 芳章 | 維義 | 厚幸 | 忠夫 | 浩栄 | 裕司 | 寿之 | 敏彦  | 栄司 | 幸多朗 | 繁義 | 康夫 | 霜田  | 中村 |
| 丸山 | 五十嵐 | 荒城 | 星野 | 若井 | 遠藤 | 高橋 | 若井 | 吉川 | 池田  | 加藤 | 砂塚  | 入沢 | 宮崎 | 明   | 霜田 |
| 敏彦 | 直樹  | 彦一 | 正仁 | 恵子 | 清  | 新一 | 洋一 | 英二 | 千賀子 | 武男 | 定広  | 徳明 | 孝司 | 明   | 彰  |

# 十一月定例会

市議会十二月定例会は、十二月八日から十九日までの十二日間の会期で行われました。審議した案件は、市長提出三十九件、議員提出五件、請願三件の計四十七件で、このうち四十四件を原案可決（承認・認定・同意・採択）、三件を否決（不採択）しました。

可決した主な案件は、平成二十年度一般会計補正予算、公の施設の指定管理者の指定（かたくりの里）、同（ワークプラザ柏崎）、財産の取得（自動体外式除細動器 AED）、新たな過疎対策法の制定に関する意見書等です。

## 十二月定例会 審議日程

- 12・8 本会議①議案審議
- ・9 本会議②一般質問
- ・10 本会議③一般質問
- ・12 厚生常任委員会
- ・15 建設企業常任委員会
- ・16 文教経済常任委員会
- ・17 総務常任委員会
- ・19 本会議④議案採決

### 一般会計補正予算を 全会一致で可決

平成二十年度一般会計補正予算（第六号）が提出され、議会は全会一致で可決しました。

主な内容は、中越沖地震に伴う災害復旧事業経費の追加の補正予算による経済対策として交付される地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金を活用した観光関連施設の改修、その他必要な経費の追加など、総額四億二、二三七万二千円を補正し、併せて債務負担行為及び地方債の借入限度額の変更を行うものです。また、補正予算には、常備消防施設整備事業として、緊急入電の発信地表示システム改修工事費一、九四九万三千円が計上されました。

### 日本石油加工跡地区画 整理事業の用地取得に 伴い債務負担行為を設定

市、新日本石油㈱、独立行政法人都市再生機構の三者による区画整理事業の施行に関する基本協定を締結することになり、基本協定書に市の土地取得を明記することから、

新市民会館等用地の土地取得に伴う債務負担行為を設定するものです。

債務負担の期間は、平成二十一年度から平成二十三年度上限額は二十一億円、面積は三ヘクタールです。

なお、土地取得は平成二十一年度に二ヘクタール、平成二十三年度一ヘクタールを予定しています。



### 市長・副市長の 給料を減額

特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例が提出され、議会は全会一致で可決しました。

内容は、中越沖地震により大きな被害を受けた本市の復興・復興に全市を挙げて取り組んでいる中、市長のマニフェストに基づき、平成二十一年一月一日から平成二十四年十二月五月までの間、市長の給料月額から百分の二十相当額、副市長の給料月額から百

分の十五相当額を減額するものです。

### 公共施設の 指定管理者を指定

公の施設の指定管理者を指定する議案が二件提出され、議会は全会一致で可決しました。

- ▼施設名 柏崎市認知症老人グループホームかたくりの里
- ▼管理者の名称 社会福祉法人柏崎刈羽福祉会
- ▼指定の期間 平成二十一年四月一日から平成二十六年三月三十一日まで
- ▼施設名 ワークプラザ柏崎
- ▼管理者の名称 社団法人柏崎市シルバー人材センター
- ▼指定の期間 平成二十一年四月一日から平成二十六年三月三十一日まで

### 自動体外式除細動器 (AED) を80台購入

小中学校、コミュニティセンター及び保育園に配備する自動体外式除細動器（AED）80台を購入する議案が提出され、これを可決しました。（金額）三、一七五万二千元

### 市立半田保育園の 建物を譲与

平成二十一年四月一日から市立半田保育園を民営化するため、保育園建屋及び物置を社会福祉法人なかよし福祉会へ解除条件付で譲与したいというもので、議会は全会一致で可決しました。



### 平成十九年度 決算を認定

九月定例会に提出された平成十九年度一般会計、六特別会計（国民健康保険・老人保健・介護保険・県立こども自然王国・土地取得・墓園）の決算は、第一部（一般会計）、第二部（特別会計）の二つの決算特別委員会での審査を経て、十二月定例会初日の本会議でいずれも認定されました。

# 議員発案

十二月定例会に五件の議員(委員会)発案があり、そのうちの四件を全会一致で可決、関係機関に送付しました。

## 新たな過疎対策法の制定に関する意見書(議会運営委員会提出)

(要望事項の要旨)

本市は、合併前から高柳町、西山町地域が過疎地域に指定され、合併後においても特例措置により、「一部過疎地域」の指定を受け、生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げている。

国会及び政府においては、過疎地域の重要性を再認識し、平成二十一年度末で失効する「過疎地域自立促進特別措置法」のこれまでの成果と課題を十分に認識し、抜本的な対策を盛り込んだ新たな法律を制定するとともに、新たな法律の制定に当たっては、合併前に過疎地域であった両町地域を引き続き「一部過疎地域」に指定するなど、合併後の市町村単位にこだわらない、地域の実情に即した総合的な過疎対策を強く要望する。

## 雇用・能力開発機構のあり方についての意見書(議会運営委員会提出)

(要望事項の要旨)

一 職業訓練・能力開発における国の責任・役割を維持し、現在の厳しい経済・雇用情勢のもと、非正規雇用や中小零細企業で働く労働者など、訓練機会に恵まれない人に対する施策の充実、強化を図り、職業訓練における国の責任・役割を全うすること。

二 雇用・能力開発機構のあり方の見直しに当たっては、セーフティネットとしての職業訓練や、民間では困難な訓練を実施すること、全国的に継続的かつ一定水準の訓練機会を保障することなど、能力開発における国の責任を十分に踏まえた上で、同機構が行う業務を十分に精査し改革を行うこと。  
以上の事項を十分配慮されるよう強く希望する。

## 道路整備財源の確保等に関する意見書(議会運営委員会提出)

(要望事項の要旨)

本市は、中越地震、中越沖地震と二度の大きな地震により甚大な被害に見舞われたが、避難・救助・支援物資の輸送・ライフラインの復旧など、さまざまな災害対応を通し、緊急避難路や緊急輸送路としての道路の交通が確保されていることが、住民の生命・財産を守るために重要であることを再確認し、災害に強い道路整備の必要性を痛感した。

また、極めて厳しい財政状況のもと、道路整備の必要性から道路予算に一般財源や借入金を充当している状況である。  
国会並びに政府は、下記事項について特段の配慮を行うよう強く要望する。  
一 地方が必要とする道路整備が引き続き計画的に実施できるよう、これまでに地方に配分されてきた三・四兆円以上の額を「地方枠」として確保し、地方税財源の充実強化を図ること。  
二 道路整備の財源を確保すること。

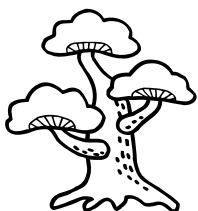
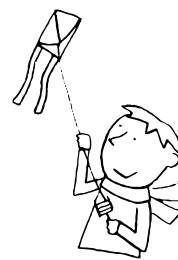


## 薬害C型肝炎・ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書(議会運営委員会提出)

(要望事項の要旨)

薬害C型肝炎患者を含むB型肝炎患者は、進行する病状、インターフェロンのすさまじい副作用、肝臓がん・死への恐怖にさいなまれ、命を失う者も多数おり、高い医療費の負担や生活に苦しみ、いわれなき社会的差別・偏見を受けて、国の責任による救済を痛切に求めている。

国会及び政府は、衆参両院の厚生労働委員会で決議もされていることから、これらの患者を救済するため、下記の事項について速やかに必要な措置を行うよう強く要望する。  
一 カルテがないC型肝炎患者についても、手術記録、投薬指示書、母子手帳等の書面、医師などの投与事実の証明または本人、家族等による証言等も幅広く考慮することにより、薬害C型肝炎患者と認定し、「特措法」の適用による救済を図ること。  
二 ウイルス性肝炎患者が最良の治療体制と安心して暮らせる環境を確保するため、ウイルス性肝炎患者の障害者認定、障害者年金制度の拡充を初めとした医療費・生活費の助成措置、インターフェロン治療費補助の改善等の早期実現を図ること。  
三 ウイルス性肝炎の専門的な治療体制の整備、とりわけ地域格差の解消と、肝炎治療法・治療薬の開発促進を図ること。  
四 薬害再発防止策の構築を図ること。





## 被災した観光施設、 観光資源等の再生



加藤 武男 議員

# 一般質問

# 市政のここが知りたい 市政にこれを提案したい

(質問の全項目を冒頭に記載、その内容の一部を掲載しました)

一 柏崎の観光の復旧と復興  
について

- (一) 新潟トキめき国体開催に向けての取り組み
- (二) 中越沖地震による被災した柏崎市内の観光施設、観光資源等の修理・修繕と利用・使用について
- (三) 観光の魅力としての食のおもてなしを支える「柏崎野菜」に代表される農業の振興、漁業の振興について
- (四) 「産業観光」への取り組みについて
- (五) 駅前通りから本町、えんま通りにかけての柏崎の

顔に関して

中越沖地震は、柏崎市の観光施設、観光資源等に甚大な被害をもたらし、それらを被災前の姿・形に戻すことが大きな仕事の一つである。これから観光資源などの現況・利用はどのようになっているのか。

◎市長

市の観光施設であるコレクシヨンビレッジ、国民休養地、海洋センター、じよんのび村などは、平成十九年中に施設の復旧をほぼ終え、二十年度当初から利用できる状態とな

っている。

御質問の飯塚邸は、現在、歴史的建造物の調査・復元に実績のある専門家からの報告に基づき修復計画を検討しており、年度内には修復方針を決定したい。えんま堂は、ワイヤーで建物の傾きを直し、仮設の向拝を設置するなど、応急の復旧は終えている。

また、番神堂、木村茶道美術館、松雲山荘は、いずれも平成十九年度中に修復が完了し、通常どおり利用されている。なお、大泉寺観音堂は修復済みで、仁王門も甚大な被害を受けたが、関係者の努力

により、修復が予定されていると承知している。

来年度は、新潟ステイネーションキャンペーン、新潟国体の開催、NHK大河ドラマなど、新潟が全国の注目を集める年であり、当市もこの機会をとらえて、一層の誘客活動の強化と受入態勢の充実を図らなければならない。

海水浴、海の花火大会、滋味豊かな鮮魚など海の柏崎ブランドと歴史・文化や風土、これら柏崎の魅力を重点的に発信していきたい。

## 刈羽村への上水道給水と 都市構想



砂塚 定広 議員

道施設の稼働率の余裕など、水を売るためだけの理由で行うのではなく、柏崎・刈羽地域が一体的なまちづくりを目指すことが、時代の趨勢であるとの認識のもと、刈羽村への給水をきっかけに、一体的な都市構想を話し合う考えはないか。

### ◎市長

刈羽村への上水道給水は、給水要請にこたえる方向で検討を深めていくことはやむを得ないと判断しており、課題等の整理をして協議を進めていきたいと考えている。

大きな課題の一つは、これまで柏崎市民が行ってきた過去の水道事業への投資等に対する負担の問題であり、これからも当然の間、負担していかねばならない投資に対しても、恩恵を受ける刈羽村の住民にも相応の負担をしてもらうことが合理的であると考えている。

また、柏崎市と刈羽村は、市民生活や行政執行など、さまざまな場面で連携する必要があるので、諸般の情勢を見ると直ちに合併とはならないと認識している。

刈羽村への上水道給水は、単に企業会計の経営状況、水

## 柏崎市が目指してきた 農業の現状と課題



池田 千賀子 議員



での経緯や状況を踏まえて、現実的な判断をすべきであるが、結果として将来の圏域のさらなる一体性の機運の醸成に呼び水となる可能性もあると思っている。双方が納得でき、将来ともメリットが享受できる決着を図ることが大切であるとの認識を持ち、そう遅くならない時期に合意にこぎつけたい。

- (一) 柏崎市が目指してきた農業と現状について
- (二) 小規模な圃場の耕作環境改善について
- (三) 常設販売所の開設について
- (四) 米粉の活用について
- 二ものづくりの現状と課題について
- (一)ものづくり産業へ市が行ってきた支援の評価について
- (二)今後の課題について

市長は、柏崎の農業が抱える課題について、著しく低い生産性と表現し、国営土地改良事業、担い手対策など、これまでの施策はその解決に向けたものであるといえる。これまで実施してきた施策が、柏崎の農業へ与えた影響とその評価は。

### ◎市長

市では、国が平成十九年度に導入した、水田経営所得安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境保全向上対策のいわゆる農政改革三対策に対応した施策を実施してきた。

担い手育成・集落営農の推進、集落営農組織の設立や担い手への農地の集積、柏崎野

菜など園芸導入による複合経営の推進、柏崎米のブランド化、圃場整備の推進が主な施策である。

市独自の加入要件の緩和により、小規模農家の水田経営所得安定対策の制度加入促進を図っている。

市単独事業を創設し、刈羽節成きゅうりなど、いわゆる「柏崎野菜」の復活や栽培拡大を図り、また、「柏崎復興まつり」や、東京の表参道・新潟館ネスパスでの「柏崎野菜まつり」の開催など、柏崎野菜の特産化に向けた気運の醸成が図られたところである。

県内で最も早い出荷を特色とした早期越路早生の計画どおりの収穫やコシヒカリの一等米比率九六・一％など、柏崎米のブランド化にはずみがついたところであり、また、圃場整備など着実な基盤整備の充実を図っている。

厳しい農業情勢のなか、限られた予算の中で、農業が柏崎の産業として誇れるよう、最大限努力していきたい。



一 柏崎市の農業に関する課題について



## 市長選挙の総括



三井田 孝欧 議員

- 一 さきに行われた柏崎市長選挙における問題点、もしくは、選挙違反と思われるような行為について、勝ち負けではなく、今後行われる選挙のためにも、総括を含めて伺う
- 二 現在、柏崎市が被告となつて係争中である旧柏崎トルコ文化村、その敷地内に設置してあった、トルコ共和国から贈られたアタチュルク像の扱いについて伺う
- 三 新規事業凍結とはいえ、柏崎から流出した者（労働人口）が、地元に戻ってこられるような政策、地元に住

みたいと思いつつも生活環境から市外に流出せざるを得ない若い世代に対する政策は、いち早く実施すべきと思われるが、市長の見解を問う

四 柏崎市内全域での光ファイバー等、情報格差をなくすための政策について、現状と今後の計画を伺う

次世代の柏崎を担う若者を初め、柏崎市長選挙における投票行動は。また、投票率の向上策は。

公職選挙法を初め違反の事例はあったか。また、今後の選挙に向けて、選挙違反に該当する事例をホームページでの公表など、わかりやすく広報してはどうか。

市議会議員が、公務員である市職員多数に対し、選挙を特定し、支持者カードの記入を依頼する事例があった。公職選挙法、地方公務員法に抵触すると思うが、実態を把握しているか。

### ◎選挙管理委員長

投票率は、地域別ではおおむね中心部が、年齢別では若年層が低い状況である。投票率の向上に向け、市内大学生

を対象とした期日前投票立会人の体験や、大型スーパールの協力による店内放送などを行っているが、さらに研究し、投票率の向上に努める。

選挙運動期間において問題のある行為で連絡の多かったものは、選挙運動用ポスターの掲示や確認団体の行為で、関係の選挙事務所に確認の上、対処をお願いした。

選挙違反事例の広報については、他の事例を参考に検討していきたい。

御質問の支持者カード等の件は、詳細について確認できない。

## 第3期介護保険事業の評価



宮崎 孝司 議員

- 一 介護保険事業の見直しについて
  - (一) 第三期介護事業をどう評価しているか
  - (二) とりわけサービス利用が計画と乖離した原因は何か
  - (三) 「介護報酬引き上げ」の市の追加支援について
- 二 山本団地における大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の地元負担の大幅軽減について
- (一) 造成した土地開発公社の地下水対策の責任について
- (二) 国が示す都市防災推進事業制度要綱に従った負担方法について
- (三) 負担金の減免について
- 三 小中学校での「安定ヨウ素剤の副作用問診票」の改善について
  - (一) 「問診票」の回答における不明者のヨウ素剤投与は、どのように扱うか
  - (二) 「安定ヨウ素剤の副作用」の調査をわかりやすい判定方法にすることについて

第四期介護保険事業計画をたてるに当たって、第三期介護保険事業の到達点と必要な

改善点をどのようにとらえているか。

### ◎市長

介護給付は、居宅サービスについては、中越沖地震の影響により一時的に減少したものの、おおむね計画どおりの利用、施設サービスについても、特別養護老人ホームが平成十九年度に八十床開設され、老人保健施設とともに、おおむね計画どおりの利用である。介護療養型医療施設は、平成十八年に五十床が一般病床に転換されたことから、計画の約四割程度の利用となつている。

地域密着型サービスは、小規模多機能二か所が今年度末までに開設予定だが、うち一か所が予定より一年おくれたため、利用見込みは計画を下回っている。グループホーム、認知症デイサービスなど、全体としては、計画どおりの利用である。

また、予防給付は、計画の五〇%以下の利用であり、要因として、計画策定時において、対象者数の適正な把握が困難であったことなどが考えられる。

## 喬柏園石垣崩落事故の 今後の対応



星野 正仁 議員

- 一 AED (自動体外除細動器) の設置について
  - (一) AED に関する予算について
  - (二) AED の設置場所について
  - (三) AED の周知・告知方法について
  - (四) イノシシによる農作物への鳥獣被害対策について
  - (五) 新型インフルエンザへの取り組みについて
- 二 ごみの有料化について
- 三 喬柏園石垣崩落事故について

中越沖地震により発生した

喬柏園の石垣崩落事故について、関係住民への今後の対応は、どのように考えているか。また、いったんは補償の意向ととられる説明を示しておきながら、石垣工事終了後にはそれを撤回するなど住民への説明、顧問弁護士への支出は果たして正当な予算執行であったのかなど、これまで市が行ってきた対応について、どのように考えているか。

◎市長  
この件については、顧問弁護士との協議のなかで、中越沖地震は不可抗力による自然災害であり法的責任がなく、また、中越地震後に施工した落石防護網の工事についても、基準に準拠した工事であり、法的な責任はないと考えている。

しかしながら、中越沖地震発生直後から被災された皆様への対応で、あたかも補償ありきのような印象を与えてしまったことは、大きな期待感を持たせる結果となつてしまひ、大変申しわけなかったものと考えている。

また、今後の対応については、天災という不可抗力のなかで、市には補償といった法的

## 中小企業に対する支援策



片山 康夫 議員

- 一 国民健康保険法第四十四条に基づいて医療費の一部負担金を軽減することについて
- 二 国保税滞納世帯の子供の保険証の取り上げと資格証明書の発行は直ちに中止し、保険証の発行を行うことについて

的責任もなく、中越沖地震に伴う各種の支援策の中にも、関係住民だけに該当する特別な支援策も見当たらず、被害を受けた皆様には不本意なことと思うが、御理解をいただきたい。

三 世界的な金融危機・円高・消費不況が重なる経済状況の中で、中小業者への支援策について

(一) 制度融資における市の果たす役割

(二) 制度融資の利用状況を市として把握しているか

(三) 制度融資を借りるときの納税条件の緩和について

(四) 信用保証料の助成、利子補給の拡充

(五) 制度融資の新設と対象業種の拡大を図ること

(六) 低利の融資への借りかえも柔軟に対応するように

(七) 地元企業をサポートするために金融相談会の開催

原油・穀物の高騰により、人々の暮らし、中小企業や農業、漁業の経営を圧迫している。市としても、職員を派遣し中小企業者の実態把握に力を注ぎ、支援、雇用の確保について、抜本的な支援が求められていると思うが、どうか。

◎市長  
制度融資は、民間資金では対応困難な資金需要を補完することを担い、大きな役割を果たしていると認識している。市の制度融資には、中小企

業向けの事業用資金として三つの融資がある。利用しやすい制度となるよう配慮し、公費を預託しての融資であるため、納税資格要件については、御理解いただきたい。

資金調達環境の安定を図るため、市制度融資における、年末年始運転資金の利子補給と信用保証料補給の拡充を実施しており、今後も地域の経済情勢を注視し、必要により、時期を失することなく追加策を講じていきたい。

低利の融資への借りかえについては、現行の地域産業活性化資金における低利の借りかえ資金の活用を図る。

また、現在、柏崎商工会議所中小企業相談所や商工会において、無料の相談会を実施しており、地元商工団体と連携を強化し、一層のサポートを図っていく。





## 原子力発電所安全確保の 市民の理解



矢部 忠夫 議員

- 一 原発再開問題について
- (一) 安全性の確認をどのように進めるか
- (二) 原子力安全・保安院の安全性評価の進め方への疑問、不信心について
- (三) 市民の安全・安心への理解をどういう形で進めるか
- 二 子育てと教育の一貫支援体制づくりの方向及び、小中一貫教育の推進の具体的な進め方について

の耐震安全性に大きな不安を持つている。また、第四次総合計画策定に向けたまちづくり市民アンケートや、震災復興計画策定市民アンケートでも明らかのように、安全が十分に確認できない限り、原発の再開をすべきではないと考えている。今後、安全確保について、市民の理解をどのように進め、再開の可否について、どう把握していくのか。

◎市長  
原子力発電所の安全性の確保については、管理・監督する立場である国が最終的にその責任を果たすことが第一と考えている。

原子力安全・保安院と東京電力が市民や議会に対して説明会を実施している。そのこと自体は、大事なことであるが、最近住民説明会の参加者が少なく、工夫をしていただく必要があるのではないかと、今後は、ダブルチェックを行う原子力安全委員会の役割、市民に対する情報発信も大事になってくる。

そのなかで、地元自治体としての理解活動も必要であり、新潟県、刈羽村と協議しながら、今後、検討していかねばならない。

## 住宅再建に課題を抱える 世帯の解消



持田 繁義 議員



- 一 中越沖地震の被災者救援・災害復興にかかわる課題について
- (一) 住宅再建に課題を抱える世帯の解消をどのように進めるのか
- (二) 被災者生活再建支援法を半壊世帯へも適用する必要性について
- (三) 伝統的地域コミュニティ・神社再建への基金対応を求める
- 二 「中越市民防災安全士」認定事業に連携する考えはあるか
- 三 原発の再稼働への基本的な考え方、独立する権限ある規制機関の設立ともかわって、見解を問う
- 四 学区等審議会の検討状況について
- (一) 学校統廃合問題をどのような角度、基準で見ているのか
- (二) 「一九七三年文部省通達」をどのように取り扱っているのか
- (三) 「小中一貫校」はどのように検討されているのか

っている。新聞報道によれば、三十八世帯が住宅再建のめどが立っていないとされるが、一人の被災・犠牲者を残さないとするなら、どのような取り組みがなされるのか。

◎市長  
応急仮設住宅入居者の住宅再建にかかわる課題について、二月から実施している調査や個別訪問等により個々の実態を把握し、課題の解決に向けて努めてきた。その結果、再建のめどが立たない世帯は二十世帯程度になっている。これらの世帯に係る再建課題としては、資金不足、業者の多忙、再建意欲の不足、希望借家が見つからないなどが主な理由であり、個別相談を重点的に行っている。

具体的には、ファイナンシャルプランナーによる住宅再建相談、家賃などの補助制度の利用、また、希望借家が見つからない世帯に対して、宅地建物取引業協会柏崎支部の協力により空き物件とのマッチングを実施している。

仮設住宅の退去期限までには、被災者の住宅再建・生活再建を達成できるよう、しっかりと支援していく。





人事案件に同意

市長から次の人事案件が提出され、議会は副市長については賛成多数、他は全会一致でこれに同意しました。

▼副市長の選任

山田 哲治

(市総合企画部長)

▼固定資産評価審査委員会委員

中村 文子氏 (再任)

中村 光男氏 (再任)

▼人権擁護委員候補者

品田 洋子氏 (新任)

市議会本会議の  
インターネット中継

市議会本会議のインターネット中継(生中継及び録画)を行っています。柏崎市議会のホームページから「らんく」をご覧ください。

柏崎市議会

12月定例会議決一覧

市長提出議案		
件名	議決状況	議決結果
専決処分報告について(株式会社日本政策金融公庫法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例)	全会一致	承認
決算の認定について(平成19年度一般会計)	〃	認定
決算の認定について(平成19年度国民健康保険事業特別会計)	賛成多数	〃
決算の認定について(平成19年度老人保健特別会計)	全会一致	〃
決算の認定について(平成19年度介護保険特別会計)	〃	〃
決算の認定について(平成19年度新潟県立こども自然王国管理運営事業特別会計)	〃	〃
決算の認定について(平成19年度土地取得事業特別会計)	〃	〃
決算の認定について(平成19年度墓園事業特別会計)	〃	〃
平成20年度一般会計補正予算(第6号)	〃	原案可決
平成20年度一般会計補正予算(第7号)	〃	〃
平成20年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
平成20年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
平成20年度ガス事業会計補正予算(第3号)	〃	〃
平成20年度水道事業会計補正予算(第3号)	〃	〃
平成20年度公共下水道事業会計補正予算(第3号)	〃	〃
平成20年度農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	〃	〃
特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例	〃	〃
行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例	〃	〃
税条例等の一部を改正する条例	〃	〃
コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
市立保育所条例の一部を改正する条例	〃	〃
国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
市立学校設置条例の一部を改正する条例	〃	〃
学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例	〃	〃
道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	〃	〃



都市公園条例の一部を改正する条例	全会一致	原案可決
公の施設の指定管理者の指定について(柏崎市認知症老人グループホームかたくりの里)	〃	〃
公の施設の指定管理者の指定について(ワークプラザ柏崎)	〃	〃
訴えの提訴について	〃	〃
財産の取得について(自動体外式除細動器(AED))	〃	〃
財産の譲与について(建物)	〃	〃
市道路線の廃止について	〃	〃
市道路線の認定について	〃	〃
大規模盛土造成地滑動崩落防止事業分担金徴収処分に係る異議申立てに関する諮問について	〃	異議ない
副市長の選任について	賛成多数	同 意
固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致	〃
固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃	〃
人権擁護委員候補者の推薦について	〃	〃

議 員 提 出 議 案		
件 名	議決状況	議決結果
議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	—	審議未了
新たな過疎対策法の制定に関する意見書(案)	全会一致	原案可決
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書(案)	賛成少数	否 決
雇用・能力開発機構のあり方についての意見書(案)	全会一致	原案可決
道路整備財源の確保等に関する意見書(案)	〃	〃
薬害C型肝炎・ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書(案)	〃	〃

請 願 ・ 陳 情		
件 名	議決状況	議決結果
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	みなし	不採択
市議会議場に市旗・国旗の掲揚を求める請願	賛成少数	〃
C型肝炎被害者の救済の意見書採択に関する請願	みなし	採 択
平成21年度新潟産業大学附属高等学校運営費補助事業に関する要望	—	報 告
平成21年度税制改正及び行財政改革に関する提言について	—	〃
ペット移動火葬車について現行法に基づいた取り締まり、罰則を伴った措置を求める陳情	—	〃
「ありがとうの日」制定に関する陳情	—	〃
道路整備財源の確保等に関する意見書の採択について(お願い)	—	〃

※審議未了とは、議決に至らず、廃案となったものです。

※上記の請願のうち、議決状況欄が「みなし」とあるものは、これに対応した意見書(案)が議員から提出され、意見書(案)を先に採決しましたので、その議決結果をもって請願の採択・不採択が決定されたものです。

陳情は、議会に報告するのみで、審議はしていません。

「学びも育ちも  
個性に合わせて」

議員 荒城 彦一

この世に同じ人間は一人もいないという。一卵性双生児に見るように、顔や姿がそっくりだとか、性格や行動が似ているケースはあるかもしれないが、「千人十色」と言うように人夫々皆違うのが、人間であり神様の采配なのだろう。

職業柄各種講習会・研修会のお手伝いをする事が時々ある。そこでいつも感じるのが「個性の違いと教え方」である。教育や人材育成ではこの個性に合わせる事が重要だ。そこで一人の生徒に一人の指導者で、ということになるが、現実では、ナカナカそうは問屋が卸してくれない。そこで指導方法の工夫だ。

学校でも家庭でも子供によく「勉強しなさい」と言うところが子供の「勉強の仕方が分からない」というケースが案外多い。つまり「個性に合わせて教える」という指導が肝要になってくる。卑近な例で恐縮だが我が家の娘二人の場合、小さい頃風呂に

入れるのが私の担当だった。二人とも風呂好きだが首までもぐつて温まるのが苦手。そこで「十数えるまでもぐつていなさい」ということになる。娘二人で数を数える。ところが二人の間で違いがある。姉の方が一から十までナカナカ覚えなない。数え方もどこかタドタドしく心もとない。一方、妹は二歳下にもかかわらず実に滑らか。「一〜二〜三」と謳うように覚えてしまう。ところがその先、つまり十一から先を覚える時、姉は教えなくても百まで数えられるようになり、途中で間違えても飛ばしても自分でその数を発見する事が出来た。妹はこれまでと同じように滑らかではあるが、教えたところまでしか数えないし間違えると最初からやり直す次第である。このことを少し理屈をつけて考えてみると、姉は序列で覚え、妹はリズムで覚える。つまり二人は覚え方が全く違うのである。

そこで教え方になるが、姉の場合は理論から入って答えを導き出す。妹の場合は先に答えを見せて「この問題はこう解くのだから覚えなさい」と教え、後から理論を説明する、という方法になる。これを逆にするとうまくいかない。企業でも自治体でも教育・人材育成に力を入れていくが、夫々持てる個性を活かす事により、力も発揮し成果も違ってくる。適材適所に意味があり効果もあることになる。個性に合わせて指導方法が事の外大切だと思う。

議員寄稿

草生水の灯をともした人  
「内藤久寛」

議員 齋木 裕司

毎週火曜日夕方はいつもなら市民合唱団の練習ですが、今は『かたくり一座』の団員でもあるために、十年振りに一月二十五日・二月一日の演劇公演に向けて、日々練習している。

内藤久寛とはどんな人かという、一八五九年に西山町石地に生まれ、我が国近代石油産業の成立をした人である。十四歳の時、青雲の志を抱いて横浜に向った。家には無断の旅立ちで、難洪をきわめ九日目に高島学校に入り、開花の新しい空気にふれた。

しかし、健康を害し帰郷したが、家計の状況は厳しい中で酒造などの家業に就いた。

十九歳で村民に推され戸長となり、二十歳には国会開設運動にも参加し二十六歳に県会議員に立候補し当選した。

その後も漁業組合の設立、県水産組合連合会を設立し会頭となった。また、家業として製塩を取り入れ地場産業の振興にも力を尽くした。

石油事業を興そうとするにいたった動機については『春秋風秋雨録』の中で、わが石地の隣地なる三島郡尼瀬には「草生水の澗」と称する海面に石油浮び、海浜の砂を掘れば石油の滲出を見ることは珍しくなかった。(中略)その結果、石油なるものが将来非常に発達を遂げるべき可能性を有することを感じ、堅実なる組織に依り開発するに於ては、国家を益すること必ず多大なるべしとの考えを懐いた。

既に壮年に達し、山口権三郎等の指導により「殖産興業

の志」を抱いていた内藤が、尼瀬の活況を見て石油業の将来性を読み取り、その企業化に着想したのは自然の成行きであったとも云える。

と、同時にその背景には、我が国経済の発展と企業の本興があった。

私は久須美秀三郎という、地主、県会議員、殖産協会役員で、日本石油設立の一員となつた人物役として参加させてもらっている。歴史を知り我が郷土の新たな文化を学ぶチャンスであると思っている。

また、十年前には『天明義民伝』の演劇公演に、白川藩主の松平定信役で出演させてもらっている。

今から二三〇年前の江戸中期、安永、天明、寛政と続く椎谷藩一萬石の堀家の圧政に苦しんだ領民達が、一揆ではなく嘆願や直訴という平和的な手段で幕府を動かし「越後椎谷騒動」の舞台となつたもので、それを西山町活性化まちづくり演劇公演として実施されたものです。

柏崎には多数の貴重な文化財や歴史が残っています。

今後大事にしながら文化活動に、ボランティア活動に頑張りたいと思います。



第一部決算特別委員会で  
現地視察を実施

十月二十七日、第一部決算特別委員会では、審査の一環として、次の事業の執行状況を視察しました。

▼医療機器整備事業  
(刈羽郡総合病院放射線治療装置)

腫瘍の形に合わせた照射ができ、他の臓器のダメージを少なく抑え、腫瘍に放射線を集中できる医療装置を整備した。



放射線治療装置

▼大規模盛土造成地滑動崩落防止事業(山本団地)

中越沖地震で被災した宅地地盤の復旧工事として、暗渠管(有孔管)工事、L型擁壁工事を施行した。

▼県農林水産業総合振興事業(与三生産組合)

コンバイン(6条刈・キャビン付)一台を購入し、作業の効率化を図った。



議 会 日 誌

- 十月
- 2日 北海道南渡島消防事務組合議会視察来庁
- 3日 原子力発電所立地自治体意見交換会(福島県富岡町 霜田議長出席)
- 三井田議員調査出張 (東京)
- 来庁
- 8日 自治研究会・明友会調査出張(北海道三笠市・夕張市)

- 9日 斎木議員研修出張 (東京)
- 15日 北海道厚岸町議員視察 来庁
- 16日 埼玉県和光市議員視察 来庁
- 21日 議会運営委員会
- 22日 中越沖地震原発調査特別委員会報告会
- 群馬県伊勢崎市議員視察来庁
- 23日 飯塚議員研修出張 (新発田市)
- 24日 中村議員調査出張(東京世田谷区)
- 27日 第一部決算特別委員会
- 27日 第一三井田議員調査出張(東京・新潟市)
- 30日 岐阜県可児市議員視察 来庁
- 31日 文教経済常任委員会と農業委員会との懇談会
- 十一月
- 1日 中村議員調査出張 (小千谷市)
- 3日 三井田議員調査出張 (小千谷市)
- 4日 神奈川県大磯町議員視察来庁
- 5日 第一部決算特別委員会
- 6日 全員協議会
- 大阪府河内長野市議員視察来庁
- 11日 三井田議員調査出張

- 12日 岩手県奥州市議員視察 来庁
- 18日 議会運営委員会
- 島根県松江市議員視察 来庁
- 19日 第二部決算特別委員会
- 21日 中越地区市議会議長会 (小千谷市 霜田議長出席)
- 22日 持田議員研修出張(東京)
- 25日 大阪府熊取町議員視察 来庁
- 26日 第一部決算特別委員会
- 27日 市長と各会派の懇談会
- 28日 市政に関する報告会
- 十二月
- 3日 市民クラブ三議員・村田議員調査出張 (東京)
- 5日 全員協議会
- 8日 議会だより編集委員会
- 8日 十二月定例会
- 8日 議会運営委員会
- 中越沖地震原発調査特別委員会報告会



編集後記

皆さんはご家族と素晴らしい新年を迎えられたことと思います。

つい数ヶ月前までは人手不足と時間外労働が話題だったのに、世界の急激な変化で、非正規雇用者を中心とした契約解除の話が新聞・テレビで取り上げられ、柏崎市の経済・雇用状況に対する対応が十二月議会の大きな話題の一つだったように思います。

新年を迎え、この議会だよりが市民の皆さんの目に触れるころは、世界が、日本が、柏崎が、どうなっているか・・・。議員の任期も折り返しを迎え、これら状況変化に対応した議会のあり方の検討状況等もお伝えできればと思います。

(遠藤 清)